

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(1-133))」

2. 日時: 令和4年6月15日(水) 13時30分~15時35分

3. 場所: 原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官

日本原燃株式会社 大柿 常務執行役員 再処理・MOX 燃料加工安全設計総括  
他14名

東京電力ホールディングス株式会社 原子燃料サイクル部  
サイクル技術G チームリーダー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門  
原燃計画グループリーダー 他1名

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長  
他1名

九州電力株式会社 テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部  
原子力土木建築部長

大成建設株式会社 原子力本部 原子力構造技術部 第二計画室長 他3名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000069.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000124.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html)
- ・ 令和4年4月20日  
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	横が、
0:00:04	規制庁の竹田です。それではただいまから、日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:10	本日のヒアリングは、令和2年12月に申請があった設工認申請について、4月20日提出の資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:21	規制庁側の出席者紹介いたします。
0:00:25	本庁側から主眼でハバサキキシノカミデ。
0:00:30	以上になります。WEBからはタケダが参加しております。
0:00:35	それでは日本原燃の方から、出席者の紹介と議題の構成等説明範囲達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:45	はい。日本原燃中浜でございます。
0:00:49	日本原燃側の参加者を紹介いたします。
0:00:53	オオガキムラヤマ。
0:00:56	フナコシ。
0:00:57	サトウ。
0:00:59	イナガキ。
0:01:00	マスダ。
0:01:02	カミダイラ。
0:01:03	イナヅマ。
0:01:05	スギタ。
0:01:07	ハラダ。
0:01:08	メトキ。
0:01:09	ナリタ。
0:01:11	ツルタ。
0:01:12	タニグチ。
0:01:14	ナカハマ。
0:01:16	九州電力様より、明石様。
0:01:19	東京電力より、
0:01:21	橋本様。
0:01:22	清建設様より、石黒様、渡邊様。
0:01:27	ウェブからの参加で、三菱重工高木様。
0:01:33	同じくウェブからの参加で、大成建設、堀田様、河上様。
0:01:39	サカモト様。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:40	以上になります。
0:01:43	本日も説明差し上げます資料につきましては、耐震建物 23 になります。
0:01:49	それでは説明の方を開始させていただきます。
0:01:55	日本原燃の原田でございます。耐震建物 23、R13 になります。
0:02:01	こちらの資料ですが、R12 からの変更といたしまして大きく三つあります。
0:02:07	一つは、説明の網羅性、
0:02:09	あと次回申請を見据えた類型化を踏まえた構成を見直してございます。
0:02:15	二つ目に、計算書の方ですね、この資料で言いますと資料 1 と資料 2 が該当しますけれども、
0:02:21	これまでの審査会合で論点となった項目につきまして、その背景であったり、あと採用理由等を追記してございます。
0:02:30	三つ目に一番応答解析モデルの妥当性、保守性ですね、この資料で言いますと別添 1 でございますけれども、
0:02:38	そこに記載した内容につきまして、様々な検討を行ってございますけれども、それに関しまして背景であったり目的、目的達成のための条件とオーバー
0:02:50	わかりやすく記載してございます。
0:02:53	2ヶ月前にですね、委員、今申しあげました 3 点を反映しまして資料提出いたしましたのが、
0:03:00	申し訳ないんございませんけれどもその後ですね、用語の動きと、見つかっております。
0:03:07	例えば飛来物防護ネットのことを、竜巻防護ネットと記載しておりました。
0:03:14	それから一昨日ご指摘あった通りですねマスキング箇所の誤りというものもございました。
0:03:21	あと、テキストボックスのみ綺麗ですとかあと作業用の傾向、記録蛍光ペン塗っていたんですが、それを残ったまま提出してしまったという部分もございます。
0:03:34	これらにつきましては本日もヒアリングを行いまして、コメント対応もあると思いますけれども、その対応を含めまして、
0:03:45	適切に修正作業を行って再度提出させていただきたいと考えております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:50	またマスクング箇所誤りについてでございますけれども、こちらは二度と発生しないようにですね、
0:03:58	先ほど社長以下の情報共有会議という場がございましたけれども、そこで共有いたしました。それとともに、不適合登録もいたしました。
0:04:08	そういった取り組みを通じてサッキュウにですね不適合管理の仕組みの中で是正処置を行って、先に全社内でも水平展開を図って、二度と発生しないように努めて参りたいと。
0:04:22	努めて参ります。
0:04:23	私からは以上でございます。
0:04:30	経常の武田です。ありがとうございます。
0:04:34	それでは、
0:04:36	この資料について規制庁側からの確認を進めていきます。
0:04:41	順番に説明確認をしていこうと思いますがまず、全体構成を通じての確認事項がありましたらお願いいたします。
0:04:55	規制庁、カミデです。その前に、
0:04:59	一応マスクングの話がされたので、
0:05:04	既往のということで確認しておきますけども、
0:05:09	マスクングも例、日本原燃のマスクング漏れ特にその商業機密に関わる部分っていうのは、設工認の話もそうだしその前からずっとなんですけど、
0:05:21	繰り返されていてその度に是正をしますというような話があつてですね。
0:05:27	ええ。
0:05:28	なので、今回の対応でもきちんと、
0:05:34	それで大丈夫だろうというのは全く思えないところですけど。
0:05:39	そこはきちんと事業者として、今までの失敗も踏まえて、やっていくと。
0:05:45	ということでまず確認していいですか。
0:05:50	はい。日本原燃の原田でございます。はい。今夏はですね本当深く反省しましてですね、適合登録も行いまして、そこで
0:06:02	何でこんなことが起こったかっていうところをですねしっかり原因究明して、対策を図っていきたくて考えております。以上です。
0:06:13	はい。規制庁、深見です。わかりました。
0:06:16	また別途今いろいろ資料もらってますけどその辺も何かがあれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:21	また連絡いただくということだと思っておりますので、まずは対応よろしく お願いします。
0:06:29	はい、承知いたしました。
0:06:33	はい。規制庁上出です。あとまずな中身というか、構成。
0:06:41	ということなんですけども、
0:06:44	耐震建物 23 の 2 ページ目 3 ページ目に表が出てきていて、
0:06:51	なかなかこういう形で資料は出てきてなかったんですけど、
0:06:57	表の中身っていうのは、資料の 6 ページとか 7 ページ。
0:07:03	2 書いてあることをまとめた表だっていうことなんですかね。
0:07:09	はい。おっしゃる通りでございます、
0:07:12	少し紹介いたしますと、2 ページ目ですね、表の左側に、建物構築物全 体で説明すべき項目をまず列挙しております。
0:07:25	そして表の右側、
0:07:27	はですね。
0:07:28	その左側の項目のうち、
0:07:30	まず、評価的な項目に色づけをしている形です。
0:07:36	具体的に言いますと、建物構築物、内容によって機器配管も含めて共通 するんですけども、
0:07:45	青色で付したものは、飛来物防護ネットで共通する。
0:07:52	ごめんなさい。建物構築物と機器配管で共通するものは青黄色ござい ます。
0:07:58	飛来物防護ネットで共通するものが希望でございます。
0:08:04	またですね、文字に色をつけてますけど、青い文字っていうのは、
0:08:12	前回の項目から、別項目をさせた内容で、赤い文字っていうのは、追加 した内容を示しています。
0:08:22	こういった整理ですね、ちょっと後次回申請では
0:08:27	かなりですね、
0:08:29	個別で、残りっていうかですねそういう色づけがなされてないところは ボリュームがかなり減ってですね。
0:08:38	ええ。
0:08:39	後次回申請する全体的なボリューム感というものを与えられると考えて いるということでございます。以上です。
0:08:49	規制庁、上出です。いろいろわからないところはあるんですけどまずは じゃあ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:55	飛来物防護ネットの枠のところに4Bと、次回申請分っていう、
0:09:03	区切ってるんですけどこれ、区切った意図っていうのは何ですか。
0:09:10	はい、日本文のハラダです。
0:09:13	ですね。
0:09:16	やはり4Bと、後次回申請が
0:09:21	共通する部分もあるんですけどしない部分もあるので、まず区切ってですね。
0:09:28	共通するところは共通するところで、色をつけましたし、
0:09:35	しないところは個別にですね、作成が必要だということ
0:09:43	黒丸を付していると、そういう、
0:09:47	種類でございます。以上です。
0:09:50	規制庁上出です。もうちょっと細かく聞かないといけないみたいなんですけど、
0:10:00	例えば、
0:10:04	耐震建物、11ですかね。
0:10:09	これは、
0:10:11	バーになっていて4Bと、次回申請分が、
0:10:15	一つのセルに結合されて、
0:10:18	バーになっている。
0:10:21	一方で、
0:10:25	次の3ページの個別項目の地震応答計算書みたいところは、A4B工事回申請分でそれぞれ丸がついてセルも分かれてるっていうことなんですけど、
0:10:38	この両者がどういう形資料が出されてくるかっていうイメージがこちらはちょっと掴めていなくて、
0:10:45	そのあたりをまず説明いただけますか。
0:10:49	はい。日本原燃原田です。まず耐震建物11ですね。
0:10:54	こちらは
0:10:57	建物構築物で補足説明資料が起きてますけれども、
0:11:05	竜巻本を設備で、とどう扱ってるかと申しますと、
0:11:10	この耐震建物11、
0:11:13	運用するのではなくてですね、耐震建物23の別添1で、
0:11:19	この内容を記載したと、いうふうに読めます。バーっていうのはそういう意味でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:28	すいません、すいません
0:11:32	1 県 1 と添付 1 って言葉がまざってまたよくわからない。
0:11:36	添付 1 ですね。
0:11:37	ごめんなさい。耐震建物 23 の添付 1 に示したという意味でございます。
0:11:44	まず、
0:11:46	申し訳ございませんちょっと後半の
0:11:49	ご質問を聞き逃してしまったんですけれどももう一度お願いできますでしょうか。
0:11:54	と規制庁カミデです。
0:11:56	まず最初の方もちゃんと答えてもらってなくて、
0:12:02	添付 1 で示してますっていうのは
0:12:06	読みはわかることで、実際は、
0:12:10	この資料でいうと、9 ページからは、この添付 1 なんですかね。で、
0:12:16	この 9 ページの添付 1 っていうのは、
0:12:20	次回に渡っての説明で、
0:12:24	他にも、もう次回、
0:12:27	なっても、この資料は変わらないのか、また別の冷却塔の話が入ってくるのかっていうのがまずわかんないんですけど、その辺はどうなんですか。
0:12:38	はい。日本原燃の原田です。
0:12:41	そうですね、添付 1、C の内容につきましては、
0:12:46	検討なんですけれども、こちらの設備ごとにですね、影響評価で済むものもあれば、ちょっと影響が大きくてですね、計算書で示さないと駄目だなというものも、
0:13:00	出てくると考えましたので、
0:13:04	ルソンレーダーを、
0:13:06	一方です、耐震建物 11 の方は、もう一言で影響評価でくくってありますので、
0:13:14	ちょっとそこを区別する必要があると考えてですね。
0:13:19	耐専建物 23 に、の、
0:13:22	うち 2、
0:13:24	個別で整理したという事情がありました。
0:13:28	以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:13:30	と規制庁カミデです。全然来た欲しい答えが聞けてなくて困ってるんですけど、
0:13:37	我々としては、まずは申請としての全体像みたいっていうことなんですよ。
0:13:44	防護ネットっていうよりは本当設工認申請、新規制基準に係る設工認申請全体で、
0:13:52	それぞれ、
0:13:54	どれぐらいの開示にどれぐらいの作業確認作業が必要なのかっていうのを、
0:14:01	確認したいんですよね。
0:14:03	それによって我々の体制とかもまた決まってくるっていうところがあるので、
0:14:08	第1回的时候に、そういうところを見たいってのがまず根本の要求でして、
0:14:14	耐震建物23においても、そういうか同じで、どんな情報が増えてくるのか。
0:14:22	さらにそれは第1回で確認したからもう見なくていいよっていうものなのか、それはそれで見なくちゃいけないようなものなのか。
0:14:30	ていうことを知りたいと思ってるんですね、先ほどの回答だと。
0:14:36	対しそのばらつきに関してもどうなるかよくわかんないって言われちゃうと全然こちらの、
0:14:41	ニーズにマッチした資料になってないっていうことなんですけどその点、お諮りいただけますかね。
0:15:04	峰オオガキですけども。
0:15:07	今の
0:15:11	竜巻防護ネットに共通するところで言いますと添付は123と三つございますけれども添付1についてはこれは工事課も含めて共通の内容を記載してますので、
0:15:22	これは今回、私たちの23店舗内で、もうそういう意味では、
0:15:28	これ時間も含めて、完結してると。
0:15:30	添付23につきましては、考え方は、次回も共通なんですけども、
0:15:37	すいません次回申請分の
0:15:40	設備にの固有の計算の部分がございますのでその部分が追記される形になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:49	以上です。
0:15:56	規制庁、カミデです。テンプに行って、
0:16:00	何ページでしたっけ。
0:16:06	はい。日本原燃原田です。別府。
0:16:09	ループ7年で
0:16:11	後70ページでございます。
0:16:17	水平2歩施設カミデ水平2方向は、
0:16:24	影響評価の結果の部分が増えますよ。
0:16:31	はい、日本原燃原田です。
0:16:33	はい。
0:16:34	別府力決済共通なんですけれども、考え方はまず
0:16:41	共通ですので、それは今回、
0:16:46	取りまとめたもので、
0:16:48	完結させて、その結果本当にそうなるんですかっていう、確認を、それぞれ設備で行うんですけれども、
0:16:57	その結果が、後に増えていくと。
0:17:00	そういうイメージで考えているということでございます。
0:17:06	規制庁、上出です。まずばらつきの話添付1のばらつきの話もそういう意味で本当に、
0:17:13	示さないのかという疑問もありつつ、まずは今説明、
0:17:18	あれ、今聞いたようなことが、この
0:17:21	表なり資料ではよくわからないんで、
0:17:24	まずそれはわかるように何らか示してもらいたいということなんですけど、
0:17:30	行きますかね。
0:17:32	あれ日本的ハラダです。はい。送付いたします。
0:17:38	規制庁カミデ今の話は耐震建物01でも言ってるようなことで、
0:17:45	別にこの資料で整理すべきかっていうところも私はよくわかってなくてですね。
0:17:53	そういうところも含めて、整理いただければと思いますけど、関連して、
0:18:00	耐震建物ニジュウサンだけ、構成がほかと違っててですね。
0:18:06	なんかばらつきの話とか水平2方向の話とか、建物構築物だと一つ一つとそこを超しているのに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:15	防護ネットに関しては一つ求めます。で、
0:18:19	なんでそれで、
0:18:20	いいんだ。
0:18:21	そういう考え方からこういう構成が良くて、
0:18:25	それがふさわしいのかっていう考え方が全然見えないんです。で、
0:18:33	先ほど質問したように次回どうなんのみたいなもん、余計わけがわからなくなってるし、
0:18:39	何でこんな構成なのかなってというのが単純な疑問なんですけど、
0:18:45	その辺、どういうふうに考えたかとかっていう説明いただけますか。
0:18:51	はい。日本原燃原田です。構成につきましてはご紹介にあった通りですね、耐震建物 01 で整理するものでございます。
0:19:00	ところが、少し耐震建物 23 の方が先行した部分がありましたので、今回 2 ページ目 3 ページ目ですね、少し更正の
0:19:12	話を紹介させていただきました。
0:19:15	そういった事情があっただけでこうなったんですけども、次回提出の時にはですね、耐震建物全部市で示すという基本にのっとして、
0:19:25	わかりやすく整理したいと。
0:19:28	思います。
0:19:29	それから、耐震えとあれですね。
0:19:33	どうかっていうことがちょっと原則から外れる部分もある。
0:19:37	いうご質問でございますけれども、
0:19:39	それもおっしゃる通りですね、今回設計もルールを使ったりですね、少し曜日は復習な部分がありましたので、
0:19:49	その特殊な部分は、原則からどうしても外れてしまうという事情もございます。
0:19:55	その辺も含めて耐震たちも全部 1 ですね、わかりやすく整理したいと思います。以上です。
0:20:05	あと、規制庁カミデです。今のお話は耐震建物 01 で整理をしてその結果、この 23 にどこまで載せるかっていうのも含めて整理をするっていうことでいいですかね。
0:20:19	はい。はい。日本原燃原田連続そのようなことでございますのでそのように整理するというところでございます。
0:20:29	はい。木須。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:31	小峯です。あとその原則っていう意味でいうと、補足説明資料を作りますよっていうところの、
0:20:38	原則的な話でいうと、補足説明書の本文に共通する技術的な内容を書いて、
0:20:46	個別のものは添付とか2項、
0:20:50	示すという話なんですけど、
0:20:53	耐震建物23はす。そうではなくて、本文のところに加、
0:20:59	何、何て言うか、全体構成の目次の解説みたいのが載っているのもその辺りも
0:21:06	日本原燃としての補足説明資料の、こうあるべきみたいな姿ともかけ離れているようなので、
0:21:15	そのあたりもきちんと整理をいただきたいんですけど、よろしいですか。
0:21:22	はい。
0:21:23	いう形です。今一度そうですね。他の説明資料とか、あとガイドなんかも、今一度確認してですね。ええ。
0:21:34	適切に修正あります。以上です。
0:21:39	はい。規制庁上出です。
0:21:43	ばらつきとか水平にこうこうそれぞれ建物構築物と一緒にばらしますっていうのもあればやっぱり今の23までっていう整理もどちらもあるとは思いますがそういう場合であってもちゃんと本文に、
0:21:56	きちんとそのばらつきなばらつきの共通的な内容、企業来ない方向の共通的な技術的な内容っていうのをちゃんと入れた上で、
0:22:06	添付2展開してもらおうというところだと思いますのでよろしくお願ひします。
0:22:12	はい、日本でハラダで承知いたしました。
0:22:16	はい。
0:22:17	五味です。
0:22:19	そういう話をしつつやっぱりっていうところなんですけど。
0:22:23	あと次回でまたこれ4B以外のいろんな冷却塔のネットだとか、
0:22:29	冷却塔だけでもないと思いますけど、いろんな施設のものがこう入ってくると。
0:22:36	どこにどの施設の情報が入ってるんだっていうのが、すごいわかりにくくなるような気が。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:44	していてですね、その辺はちゃんと、
0:22:48	全体を見通してこの構成でわかりやすい資料なんだっていうふうにしてもらわないと後で結局、
0:22:55	何回も同じ話をしなきゃいけないっていうことになりますのでその辺もちゃんと考慮に入れるようにしてください。
0:23:03	はい。日本原燃原田です。そうですねおっしゃる通りですねこの展開だと、設備ごとに並んでませんので、
0:23:12	はい、おっしゃることは
0:23:15	工夫しなければならないと思いました。
0:23:18	以上です。
0:23:21	はい。規制庁管です。あとは
0:23:25	単純に、設工認の添付の計算書みたいのがそのまま載ってる部分とかも、本当に補足説明資料として、
0:23:35	これが必要なのかっていうところ、
0:23:38	前回は伝えているところですけどそのあたりは、
0:23:42	整理いただかないと、23、何もかもっていうと、結局まだすごいタイプの資料になるということには、
0:23:52	現状変わらないような気がしますのできちんと考えて整理してください。
0:23:59	はい。日本原燃原田です。はい、承知しました。
0:24:03	計算書補正段階で取ることをイメージしてましたけれども、
0:24:08	そういったことも含めて、考慮いたします。
0:24:12	はい。藤規制庁から
0:24:14	で、経済的なそんなところはそんなところで、これから中身の話をしてそれをまたブラッシュアップっていうことだと思いますけど
0:24:26	体裁については、
0:24:29	何だろう。
0:24:30	その中身のブラッシュアップと必ずしも同時期には思っていなくて、
0:24:35	体裁でこういうところが後で整理するってのも明確になっていけばそこは読み飛ばして中身を見る。
0:24:42	できますので、次回の資料、ページにおいてはその辺も考慮していただければ、
0:24:49	思います。
0:24:56	IT本部でハラダです。承知いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:01	はい。規制庁カミデとりあえず私の方から構成の。
0:25:07	については以上ですけど、
0:25:11	ちょっと前回も同じような話をしていたけど、今回もって感じなのでしっかり対応いただければと思います。以上です。
0:25:33	規制庁の竹川です。その他全体構成や、今週の本文の部分について、規制庁側から確認はございますでしょうか。
0:25:47	はい。よろしければですね、の添付の方に入っていきたいと思います。
0:25:54	では添付1ですね、9ページ目から、
0:25:58	添付2の手前ですね69までで、事実確認が規制庁側からありましたらお願いいたします。
0:26:15	添付じゃ特にないでしょうか。
0:26:19	それでは、添付2の杉規制庁です。
0:26:26	ちょっと添付とか、名前と照らし合わせができてないですけど、57ページってというのは今、
0:26:32	はい。含まれます。
0:26:36	はい。それ範囲に含まれます。すみません。57ページでちょっと確認をさせていただきます。
0:26:48	57ページ4ポツ2で、
0:26:53	記載している説明されている内容がですね少しわかりにくいので、確認をしたいんですけども。
0:27:01	57ページとあと58から61ページまでの表についての結果をこの57ページで述べていると思いますが、
0:27:10	57ページから61ページで述べている。
0:27:15	ばらつきケースってというのは、
0:27:19	この56ページでばらつき、
0:27:22	ケースに用いる地震動を一覧表にまとめてますけど、
0:27:26	56ページの5地震動を用いて、
0:27:30	閉やった結果、
0:27:33	表を、
0:27:34	この57ページ述べているという理解でよろしい。
0:27:40	まずその確認です。
0:27:43	はい。日本原燃の羽田です。
0:27:45	はい。
0:27:47	通り、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:50	集中のキシノです。
0:27:51	わかりました。それで57ページで述べていることっていうのがその56ページまでの、
0:27:57	ばらつきを考慮する際の地震動の選定方法について妥当であるか確認すると、一行目で述べていて、
0:28:06	結論として下の2行で、
0:28:10	地盤のばらつきを評価する際に、地震動の選定方法について過去応答値の最大を選定できていることから妥当であることを確認した。
0:28:19	て言ってるんですけども、
0:28:21	56ページまでのその地震動のその絞り込み過程の妥当性を説明するために、
0:28:29	絞り込んだばらつきケース。
0:28:32	で、もっと最大となる地震動が、
0:28:35	基本ケースで、相当最大となる地震動とバーピッチしたことなくて、
0:28:44	56ページで選んだ地震動選び方は妥当だったんだと。
0:28:49	湯。
0:28:50	出ると理解したんですけどそういう理解でよろしいんですか。
0:28:58	すいませんちょっと質問がぼんやりしましたけど、何が聞きたかったかというのと、
0:29:03	この56ページまでの選定、絞り込みが妥当であることを説明する目的で、すでに選定した。
0:29:12	この4%にしろ、
0:29:14	の中でのMACCSとなる地震動が基本ケースでMACCSとなる地震動と一致することで説明ができるんだらうかというのは、
0:29:24	ここのちょっと質問した趣旨です。何。
0:29:29	なので、
0:29:30	衛藤。
0:29:32	この選定の妥当性を説明する。
0:29:35	上で、どうしてここで、この結果から妥当だと言えたのかってのが、ちょっと説明を読んでもよくわからないんでそのあたりをもうちょっと補足して説明していただけないでしょうか。
0:29:49	日本原燃の杉田でございます。こちらにつきましては、基本ケースで選ばれた地震動がですね、地盤物性のばらつきを考慮しても

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:01	常にチャンピオンになってるんだよということを確認して、この地盤物性のばらつきの選定方法の妥当性を示しております。以上です。
0:30:14	規制庁の金です。書いてあることを読めばそういうことなのかなというところもあるんですけども、趣旨は理解できますただ書いてある文章がですねちょっとよくわからないんで、
0:30:25	特に 57 ページの一番下の文章ですかね、今言った趣旨を守る、ちゃんと発足言葉を補足しているとすればですよ、地盤のばらつきを評価する際の地震動の選定方法について、
0:30:40	この後に基本ケースにおける各号当時の最大、
0:30:45	に示す、基準地震動を、ばらつきケースにおいても選定できていることから、妥当であることを確認したと、多分そういう趣旨でここはその妥当性を説明してるんだと思いますけれども、
0:30:58	その理解で合ってますでしょうか。
0:31:02	柘植の住田でございます。
0:31:05	今、喜多さんがおっしゃっていただいた意図で、
0:31:08	やっております。以上です。
0:31:10	成長の機会ということですね、ちょっと一読した限りはそういった趣旨が読み取れず、57 ページ述べてるのはばらつきケースでも実は全 13%をやってその中の
0:31:23	基本ケースで一致してるから、56 ページに絞り込んだ結果が妥当なんだというふうに説明しているというふうにも読めましたので、
0:31:30	ここでのそのやってる内容とその趣旨っていうのが明確になるようにですね、今言ったような感じになるのかもしれませんが、57 ページ一番下の結論の部分っていうのは、何と比較してどうだから、
0:31:41	妥当なんだ、妥当だと考えたんだという事業者の考えですね、もうちょっと明確に説明できるように、
0:31:49	改めていただければと思うんですけども、趣旨の方は理解。
0:31:54	できますでしょうか。
0:31:57	丹下関戸でございます。今おっしゃっていただいたこと、理解しましたので文章の適正化を図っていきたいと思います。以上です。
0:32:06	はい。よろしくお願ひします。この部分に関して私から以上です。
0:32:19	ベック規制庁の武田です。その他、全部 1、9 ページ目から 69 ページ目までの範囲で、確認でございますでしょうか。
0:32:30	よろしいでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:32:32	それでは、添付にですね、水平 2 方向及び鉛直の組み合わせ。
0:32:39	認可をするところですね、ここで確認を進めていきます。
0:32:44	ページでいうと 70 ページから、
0:32:48	63 ページでしょうか。
0:32:50	この範囲で規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
0:33:18	規制庁タケダミス特にないですね。
0:33:25	よろしければ、
0:33:28	店ペア店舗さんですね、114 ページからの確認済みます。
0:33:36	その 114 ページから 140 ページですね。
0:33:41	その範囲で確認がありましたらお願いいたします。
0:33:58	はい、規制庁タケダです。では添付 3 のところがないということで、
0:34:03	別紙 1 の方に入っていきたいと思います。
0:34:08	ページは 141 ページからですね。
0:34:12	141 ページの、
0:34:17	等では、別紙 1-1 の、
0:34:21	341 ページまでですね、この範囲で規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
0:34:29	規制庁ハバサキです。
0:34:31	資料 160 ページ、開いて欲しいんですが、基準地震動 $S_s$ の、
0:34:37	時刻歴は形が出てます。以降、 $S_s2$ の削減ができるんですけども、
0:34:43	この 160 ページ或いは 161 ページ、 $S_s B$ は $B11$ 。
0:34:48	基本的には $SMB C$ シリーズの水平動の最大加速度が本来の基準地震動も値と違っている理由について説明してください。
0:35:04	日本原燃原田です。少々お待ちください。確認します。
0:35:20	日本原燃原です。ちょっと確認に時間がかかりそうですので、後程ご回答申し上げます。
0:35:29	規制庁、田崎です。はいちょうど要は、 $S_s B$ のシリーズの水平の加速度のみが違う。
0:35:38	本来の過疎、基準地震動の値と違っているようですので、その理由について、後程説明をしてください。以上です。
0:35:48	江原です。承知いたしました。
0:36:00	規制庁竹田です。
0:36:02	衛藤先ほどちょっと区切るところがよろしくなかったと思うんですけど、別紙 1-1 の資料、一井の確認ですね、今、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:10	広井が 144 ページから 277 ページまでの範囲になります。
0:36:17	資料 1 について、その他規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:36:26	よろしいでしょうか。
0:36:29	それでは資料 2、耐震計算の結果ですが、これは 278 ページから、
0:36:37	それが 341 ページまで、この範囲になります。
0:36:41	資料につきまして、規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
0:36:52	特に細かいよろしいでしょうか。
0:36:57	それでは別添の方に入ります。うん。
0:37:00	そっか。
0:37:02	と思います。ではまず別添の 1 が、統制をしての確認になりますが、ページで言いますと、342 ページから、
0:37:12	528 ページ。
0:37:16	この範囲で規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
0:37:26	清町の市野です。この範囲で、幾つか確認したいことがありますけれども、
0:37:32	大きく分けるとですね、会合にかけたのは確か 2 月末再度だったかなと思います、会合、
0:37:43	で、
0:37:44	分析、考察を
0:37:49	丁寧にするということをお伝えしていて、
0:37:54	それに関連しての確認。
0:37:59	まず一つ目。それと、
0:38:01	あと全体を通じてですね、前回はいろいろと指摘をして今回、ある程度検討の目的とか条件とかっていうのが明確になってきたところあるんですけども、
0:38:12	やはり趣旨とかですね、文章の意味するところが不明なところ、ところといったところは多々ありますので、主に記載の適性に関するもの二つ、この大きく二つに分けて、ちょっと確認をしたいと思います。
0:38:27	まず、分析公差 II に関してなんですけれども、
0:38:32	幾つかありますが、一つ目として、
0:38:37	359 ページをお願いしたいんです。
0:38:48	359 ページで確認結果が載っ。
0:38:51	でます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:53	月、紙というか考察になるんですが、一番下のパラグラフで、
0:39:03	ロッキングが卓越する所有周期は、
0:39:09	モデルAとかね。
0:39:11	へえ。
0:39:13	と、モデルB。
0:39:16	もう、そういう式というのは362ページの図を見ればあるんですけど、それぞれ0.26秒と0.27秒。
0:39:25	終わって、
0:39:26	モデルAとモデルBで購入しなきゃ特に差がないと思うんですが、
0:39:31	ここの359ページ下の文章、
0:39:39	というのは、これはちょっと正しいんだろうかというのが、説明でいてもよくわからない。
0:39:45	です。
0:39:48	S Sの2、例えば360ページの、
0:39:53	図ですね上の図で、S sの
0:39:57	塀の方に、
0:39:58	へえ。
0:40:00	うるさくなるS sのC案の方には現れないっていったことを見ますと、地震動の周期特性によるのではないかなというふうに
0:40:10	考えられるんですけども、この鳥居、タジリ固有周期、
0:40:15	と絡めて説明されていますけど、
0:40:19	S sのC湾だってそういった0.27条とほとんど大差のないところで差が出てもおかしくないと思うんですが、
0:40:27	出てないことについてはどのようにお考えなの。
0:40:50	少々お待ちください。
0:41:36	規制庁の岸野です。回答に随分時間がかかっているようですけども、このあたりは特にそこまで深掘りをして考えてないという
0:41:44	こと。
0:41:45	と理解しておけばよろしいですか。
0:41:49	はい。フィギュアの日本のハラダです。ちょっとはい。堀田に注意しております。
0:41:56	堀田の宿題をさせていただきたいなど。
0:42:00	思っています。以上です。
0:42:02	規制庁の内野です。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:05	ページに関連すればですね。
0:42:07	S s の A だけをその保留周期と絡めて説明していて、S s の C1 で出ていないことについては触れていないこと。
0:42:16	D361 ページの平易の事を見ますと、S s の A - C1 も、モデル A の方を入れるといったことを照らしても、
0:42:27	何か
0:42:29	もうちょっと違うものがいえるのではないかなというところは、
0:42:31	思うんですけども、それらには触れずにですね、S s の A の固有周期だけで結論づけてしまっているというのは、
0:42:42	おそらく考察、或いは分析としてはまさにではないかなというふうに考えます。どこまで徹底究明すべきということではないんですけども、
0:42:51	単にご指摘であるということだけではなくてですね、結果の表れ方について、分析を深めていただいて、考察に意義を残さないっていうのが一番大事かと思いますんでちょっとそれを、
0:43:04	議論で、もう少しちゃんと説明性を上げていただきたいなというふうに、
0:43:09	思います。そういったところが、
0:43:12	これもあるんで、ちょっと続けさせていただきますけれども、
0:43:18	369 ページを見ていただきます。
0:43:29	369 ページの上の文章だと、
0:43:33	毛頭違う概ね同等であるというふうにひっくるめちゃってますけど、
0:43:38	1 の表を見ますと、
0:43:41	①から③④の方等のうち、
0:43:45	波っているのは、ちょっと他に比べると、
0:43:49	船名とリートで差分が目立つのではないかなと、これは 370 ページの表を見ても、
0:43:55	同じなんですけど、
0:43:56	これについて、
0:43:58	特に言及しない。
0:44:02	で、同じってしちゃってるのはどういうことなんですかこれは。
0:44:08	もう誤差レベルであるというふうに解釈してる。
0:44:10	でしょ。
0:44:22	原電スギタでございます。おっしゃる通りこっち側、3%程度ですので、概ね同等という。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:28	ことを考えてそのようにいたしております。以上です。
0:44:34	規制庁の岸野です。
0:44:36	3、何%まで誤差としてみなせるのかっていうところはあるかと思うんですけれども、
0:44:43	ここも含めて概ね同等として評価したということで、これは理解しました。
0:44:51	続いてですね、370。
0:44:55	6ページお願いしたいんですけれども。
0:45:01	上に表があって下には、
0:45:05	図があります。
0:45:08	これについてですね、説明文の方は373ページになると思うんですけれども、
0:45:18	単に図表に示すとあったっけ、あって、
0:45:21	この376ページの表と数がCSの内容については特に触れられていないのですが、
0:45:29	例えばバー表を見ますと、
0:45:33	S s - AとS s - C1に対して、北側南側の比較を載せてますけど、
0:45:40	確率は北側と南側でも、明瞭な差が、
0:45:44	うん。
0:45:44	し、その差の出方ってのはS s - AとS sのC1だと、また差分が出てくるという、
0:45:50	ええなというのも何名かの傾向。
0:45:55	こういった傾向ってのは実際の挙動と何らかに関連があるのかないのかわかりませんが、そういったことを特に触れられていないという
0:46:04	ことがありますし、その下の図、376ページの下の図も、
0:46:10	説明が一週剥離が生じているとだけ触れていますけれども、
0:46:16	ここで北側と南側を比較したその出方に違いがあったんですね。
0:46:22	その一つ前の375ページでも同様にですね、
0:46:26	図の中では地表面と改良地盤上部下部と、
0:46:31	部位ごとの比較を載せているにもかかわらず、特段それには触れておらず、
0:46:37	へえ。
0:46:40	まあ、一瞬、瞬間的に表れてるというだけで触れてますけど、これらの事業を示した。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:47	意味というか、これ、何を説明したかったのかっていうことも全然読めないんですけども。
0:46:52	この辺りは、そういった部位による出方の違い地震動によるカテの違いを踏まえても影響ないよっていうことに結び、
0:47:02	つけられるような図表ということなん。
0:47:06	この図表で示したい趣旨とか意図っていうのをまず説明いただけますでしょうか。
0:47:13	日本原燃杉田でございます。
0:47:15	こちらの図表を意味するところをしてるというのはですね、まず 375 ページ目の方では、どの程度、
0:47:24	改良地盤と埋戻度が離れたのかということ、を、定量感を示すためのずっぽとなっております。
0:47:34	で、376 ページにつきましてはこちらは、
0:47:39	ジョイント要素がどれだけ離れたかというのを、
0:47:47	こちらの場合ではですね、この引っ張りが生じ+
0:47:52	ので、もうジョイントよさが離れたというのでどれだけの要素が、
0:47:57	剥離したのかということを示すためにこのようなものを、
0:48:03	記載しております。以上です。
0:48:07	出生後のです。
0:48:09	375 ページの図は、その羽鳥の程度感とおっしゃいましたけど、この程度感から何がいえる。
0:48:18	376 ページも同様なんですけど、
0:48:22	うん。この
0:48:24	図から何を読み取って何を言おうとしてるのか。
0:48:27	単に程度感を示すんです。
0:48:30	ていうだけでは、よく意味がわからないんですけどそこら辺はどういう意図があって、示されてるんでしょうか。
0:48:45	この程度感を示したいっていうんだったらそれでもいいんですけど、この程度感から何がいえるかっていう結論を明確にしていきたいと思うんですが、そのあたりは、
0:49:04	すいません九州電力の明石でございます。今申し上げた通りではあるんですけどもその程度感を持って、例えば、375 ページ 376 ページすべて単体で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:20	何かと言いたかったというのではなくってこれ、373 ページに書いて おります通り、フリーの度合い、逡増感を見てると、
0:49:31	瞬間的に大きく埃が通じていると、ということが確認できる、こういう程 度かなんだけど、374 ページの通り、応答ちいには、
0:49:42	大きな差異は見られないと、ということが言いたいがためにその程度感を 示す、この 375 ページ 375 ページ、これを
0:49:53	提示表示したと、いう趣旨でございませう。以上でございませう。
0:49:59	以上です。要するにそれ以上のことは言えないってことですかね。
0:50:04	各図の中で 5 位ごとに比較をしたり、地震動ごとの比較という、組織 図を載せ方をしてるんですけど、それらは、
0:50:12	特に今回の結果を導く上では、
0:50:15	必要がない、或いは、こういった傾向の違いを見ても、
0:50:21	結論には何ら関係がないという、そういう解釈をすればよろしいです か。
0:50:32	辨野住田です。そのような趣旨で考えております。以上です。
0:50:41	別に何かこの図表載せる意味合いっていうのもよくわからなくなる。
0:50:46	てくるんですけども、
0:50:48	その程度感或いは瞬間的にしか表れないんだよ。
0:50:52	というのであればこんなにいろいろな図表を載せる必要もあるのかとい ったことも、
0:50:58	ありますので、或いは載せた以上はですね、結局こういった違いもある けれども結論には影響しないんだよ、大事なのはこういうことなんだよ っていうことを明確に、
0:51:10	説明していただく必要があると思うんですが、
0:51:13	この辺りの整理ってのはできそうでしょう。
0:51:26	日本原燃原田でございませう。
0:51:29	はい。もうおっしゃる理解しました。ちょっとあれですね、やっぱり通 表とか、たくさん載せてますけれども、そっから何がいえるかと。
0:51:39	そしてマーケット感を説明しましたがけれども、その C A P E 間で、結論 には影響しませんよと言った中心が少しは、そうですね、読み取れるよ うに、工夫したいと思ひます。
0:51:52	以上です。
0:51:55	ちょっと、
0:51:58	市長ハバサキです。剥離の時刻歴の話とかですね

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:02	私の方から、こんな表記もあるんじゃないかということで、事業者の方で準備してもらったと思ってますんで、ただ、こういうかなり剥離がその瞬間的にですが、今回はしたんですけども、してるっていうのはわかるんですけども、
0:52:17	先ほど赤井さん言われた、
0:52:19	応答結果自体に対して、その剥離の影響っていうのはあんまりほとんどないですよと、例えば374ページのスペクトルとか見ても、
0:52:29	ほとんど差が見られないと、いうこと。これが一つの結論だから、剥離は考慮しなくても
0:52:36	暴力モデルはしなくてもいいという結論に至ると思います。そのあたりですね373ページ、書いてあると言えば書いてあるんですけど、もう少し丁寧な記載。
0:52:48	考察を含めてですね、結論の方へ導くような記載の充実の方をしてもらえればと思いますが、伝わりましたでしょうか。
0:52:59	日本原燃原田です。はい。承知いたしました。てな記載に努めたいと思います。
0:53:10	はい。
0:53:11	はい。よろしくお願いします。規制庁の岸野です。続けてですね、407ページをお願いしたいんですが。
0:53:20	藤さん、(2)の確認結果の内容もちょっと腑に落ちないなという印象は、私個人的にはあるんですけれども。
0:53:29	ここの評価で次のページと、ズーを用いて説明されてますけど、
0:53:35	左端の強盗最大時刻でも、右端との差分で評価を行っているんですけど、
0:53:43	の左端の応答最大時刻に限定した評価を行っている。
0:53:49	だと思います。で、全時刻歴のうち、その左右の差分の最大時刻で評価するべきではないかなと思うんですが、そのようなあ評価をしなかった理由ってのは何なのか。
0:54:04	ていうのを教えていただきたいと思いますし、
0:54:09	まずはその点について教えてください。
0:54:28	原燃の杉田でございます。こちらにつきましては、この左右の差分が、屋根の方に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:54:38	加速度に付加するというようなことで、災害が発生したのはこのサターンとの差分のところでしたので、このように記載しております。以上です。
0:54:50	中の規定です。すいません。再確認ですけれども、左側の応答最大値、
0:54:58	の時刻にこういって、右との差も、
0:55:02	最大になっている。
0:55:04	という理解でよろしいですか。
0:55:09	日本原燃の杉田でございますこの左右の、
0:55:15	差し引きした差分が、最大になったという
0:55:18	趣旨でございます。以上です。
0:55:20	すいません。はい、わかりました。文章の説明からそうは読み取れないのでそこはちゃんと明確に説明を加えていただきたいと思います。
0:55:32	日本原燃の杉田でございます。承知いたしました。摘採適正化するようにいたします。以上です。
0:55:40	続きまして、
0:55:42	民選規制庁のタケダです。
0:55:45	ちょっと割り込んですみません。
0:55:47	ちょっとこの結果のところを確認をしたいんですけれども、
0:55:53	これは建築確認用モデルと設計用モデル。
0:55:57	うん。比較を行って、
0:56:00	背鉛直確認をモデルの方が、
0:56:04	対称性があるから、鉛直度が大きくなるよということを示そうと。
0:56:09	せることだと思うんですけど、
0:56:13	ポンチ絵が前のページにありまして、
0:56:17	405 ページですかね。
0:56:22	ここで言うとは設計モデルの場合、
0:56:25	一番際の地盤も含めて完全に対称形になっているので、
0:56:30	基礎の左も右も、イコールになって、鉛直度が相殺されて0になるよと、屋根の鉛直度は0になると。
0:56:41	いう概念的なことが書かれているんですけども、
0:56:45	今回いざ解析をした結果が、設計モデルがA 炉、
0:56:52	ページ 409 ページにあるんですけど、
0:56:55	分析した結果で、左右の応答がイコールになっていないんですけど、これはどういうことが原因なんでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:06	日本原燃の杉田でございます。405 ページ目の説明はですね、
0:57:11	※一位で書かれております趣旨が、仮に C C 左と C C、右がイコールであれば、相殺され、
0:57:22	ゼロになるというような趣旨で、ちょっとこう、
0:57:26	本品こうわかりやすく、
0:57:29	するために、過程として左右が同じだった場合はこうですよというようなことを示しております。
0:57:36	ただ、実際に応答解析をしますと、一世いろいろ面戻しどうも非線形性であったり地震動もランダムに発生しますので、必ずしもこうわからないというような、
0:57:47	ことになっております。以上です。
0:57:52	規制庁の竹田です。それでは設計モデルの最初の状態ではもう完全に対象ではあるけれど振っていく上で、地盤の非線形性だとか、そういったことが起こり得るから、
0:58:07	だんだんと非対称になっていって、多少の差が生じていくと、そういうことですか。
0:58:13	園芸になります。ただ、ますので、おっしゃっていただいたような理解で、こちらも考えております。以上です。
0:58:21	はい。規制庁の竹田です。わかりました。
0:58:25	ちょっとこちらで考えていたのは、この解析っていうのは、
0:58:31	当然水平もやってると思うんですけど鉛直動の入力っていうのもされているんでしょうか。
0:58:38	日本原燃の杉田でございます。こちら、水平鉛直同時入力で解析をしております。
0:58:45	以上です。
0:58:46	規制庁の竹田です。わかりました。
0:58:51	私はその鉛直動の入力も、当然合わせてやっているからこういった差が生じているのかなというふうに思いはしたんですけど、その分の影響っていうのは、
0:59:01	どうでしょうかあるんでしょうか、お考えをお聞かせいただけますか。
0:59:09	元の杉田でございます。すいません、ちょっと確認をさせていただいて鉛直動の影響というのはこの作業が違うっていうことに対しての、
0:59:22	影響という意味でしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:25	うん。規制庁竹田です。はい。そういうことです。ロッキングに加えて鉛直度ん足し合わせているから、その差分が左右単での差分っていうのが、そこそこ生じてるのかなと。
0:59:39	一旦ですけれど、
0:59:44	原燃の藤田でございます。こちらは、鉛直動については、
0:59:49	右左同程度の応答になるかと考えておりました、
0:59:56	そこに対して、ロッキングの上下動が加わって、
1:00:01	このような
1:00:03	ことになっているということで鉛直動が入ると。
1:00:08	完全に
1:00:10	プラスマイナスされるというようなイメージ。
1:00:13	ですね。
1:00:15	そういうふうを考えております。以上です。
1:00:19	規制庁の武です。ということは、その原因、その要因もあるから、踏査Uターンで若干の差は出ていると、出るというと、今の説明だということでもよろしいでしょうか。
1:00:34	日本原燃の杉田でございます。
1:00:38	ロッキングで左右が変わってくるということで、
1:00:43	考えておりました、鉛直動に対しては例えばそれが薄まる側に行くとか、濃くなるとか、そういう、
1:00:52	ので、差分がこう原点が移動するような、
1:00:57	イメージで考えております。以上です。
1:01:02	うん。
1:01:11	はい。規制庁の武です。はい、わかりました。
1:01:14	ちょっと言いたかったのは鉛直動の成分も、と一緒に入力していることで、純粹にそのロッキング。
1:01:23	だけに視点をこういった
1:01:26	結果終えられているのかなということをちょっと気にしたんですけれど。
1:01:32	僕は問題ないと考えてよろしいのでしょうか。
1:01:39	出野福田でございます。
1:01:42	こちら
1:01:44	こちらについては問題はないかなと考えております。最終的にこのこの際インターンの違いが屋根の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:52	鉛直加速度に影響する場合にはですね、鉛直と、水平動のロッキング両方が、
1:02:00	足されたものが、よりこのまま方に対して大きくなると考えておりますので、水平上下、
1:02:07	設計で使うっていうのも水平上下同時入力ですので、同じような状況で確認したいというふうに考えております。以上です。
1:02:20	成長の建屋です。わかりました。
1:02:24	その辺の計算私からこの辺の確認は以上です。
1:02:28	はい。
1:02:30	規制庁の岸野です。
1:02:32	あと1点ですね恒設分析に関してはですね、7章で、
1:02:39	設計モデルの総合的な検証を
1:02:43	やっているわけですがけれども、
1:02:46	例えば505ページ。
1:02:49	を見ていただきたいんですが、
1:02:51	そこで検証用モデルルーについて全般をやった結果、
1:02:56	載せているわけなんですけれども、結論に該当する記載となるかと思いますが、
1:03:05	今下カラー、七、八行目ぐらいですかね、比率が最大となったケースはS sのシーン1というような記載があります。
1:03:14	以前からですねこういった検証用モデルを用いた設計モデルの減少により、
1:03:22	これはそれ以前の設計モデル、各検討において、
1:03:27	なのか、教訓のような、
1:03:30	実際に設計モデル設計に用いる上で、考慮すべき事項等を、
1:03:35	が、
1:03:37	あるのではないかと。で、それを導き出して、設計に用いる上では広域化ことに配慮します考慮の堰をつけますといった、設計方針に結びつくのではないかとということで、何度か、
1:03:52	説明及びロジックの繋がりというものの説明を求めてきたんですけれども、
1:04:00	私がこの7章を応用に暮らしていて、下手解釈としては、会社、教訓が二つほど見いだせたのかなと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:11	思います。一つ目はこの 505 ページが、比率が S S C 1 で最大となるというような
1:04:20	ことが挙げられるのかなと思います。
1:04:23	それと、
1:04:25	511 ページを見ていただきたいんですけども、
1:04:32	北一番下の結論として、設計モデルを検証用モデルよりも保守性を有していることを確認したということで、これで終わっていますけれども、
1:04:42	512 ページの、を受け、
1:04:46	フーン見ますとですね、設計支配的となる柱とか、張りで見ると、保守的といっても、さっき誤差とおっしゃっていた 2、3%程度の差しかないわけで、
1:04:59	それで十分保守性があるかという、
1:05:02	自信を持ってるのがあっても瀬古すてきですとはちょっといえるとあまり思えなくて、
1:05:09	むしろ設計モデルの使用にあたっては、慎重になるべき保守性に配慮すべきということが、教訓の二つ目として挙げられるのではないか。これは私なりの勝手な解釈ですので、
1:05:24	違う、違うとおっしゃっていただいていいと思いますが、
1:05:27	そこのこういった二つの教育係導き出せるとしてですね、この何章。
1:05:35	の結論が 527 ページ、それと、7 章までの全体をまとめたのが 528 ページにありますけれども、そういった教訓、或いは設計において配慮すべき事項というのがほとんど触れられてなくて、
1:05:49	多分 528 ページの下から五、六行目ですね。
1:05:53	もう設計モデルの適用にあたっては鉛直成分の影響を受けやすいよねこの不在について十分な余裕を持たせた設計とするという、配慮事項だけがぽんと出てくるわけで、
1:06:05	どういった教訓を導いてそしてこの配慮事項に基づく、繋がってるのかっていうところが、
1:06:11	現在明確になっていないと思います。
1:06:15	私がちょっと例示といいますか、私の解釈であるとか、教訓 12 というのが正しければですね、
1:06:24	それを踏まえて、この

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:27	鉛直成分の影響を受けやすいやれるに配慮するですか、或いは応答比率が大きくなる、S sの週1ってというのはばらつきケースでも必ずって いうか、
1:06:39	部門クラスに入れるという前提になっていますので、そこに繋がるのか なと思うんですが、そういった整理、
1:06:47	教訓の抽出と設計の範囲改良事故の整理というのが、
1:06:53	なされないものなのでしょうか。
1:06:57	このあたり事業者の見解をお聞かせいただけますか。
1:07:13	日本原燃佐藤です。
1:07:15	ご指摘の、
1:07:18	モデルの特徴から出てきております。そういった応答を大きく励起する ような、
1:07:25	状況、これについても合わせてですね、
1:07:31	設計上配慮する上での適切なホール構造と、
1:07:38	ご指摘かと思えます。
1:07:40	その点については、少し
1:07:43	今のグループのままですと、
1:07:45	繋がりが悪いというふうに思いましたので、実は、その点につきまして は、
1:07:52	ご指摘の点が読み取れるような形に修正させていただきたいと思いま す。
1:07:59	以上です。室長の岸野です。一応
1:08:03	前向きな
1:08:06	ご回答いただいたのかなと受けとめますけれども、中子の設計モデルを いろいろと妥当性検証していく中で、られた教訓として先ほど私の解釈 で二つほど挙げたんですけどその理解は、
1:08:20	合ってますか、事業者と同じ認識を持ってるかと理解してよろしいんです か、それとも別の教訓があるのか。
1:08:28	ないのか、その辺り部分。
1:08:32	現在サトウです。ご指摘の局については
1:08:39	当初、当社の方も同じような認識で考えておりますので、
1:08:44	それがちゃんと表現できるような形にしたいと思います。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:50	説明します。はい、わかりました。私が言った言葉にとらわれなくてですねきちんと、より適正な言葉で表現していただくなり、説明をしていただければいいと思います。で、
1:09:02	それとその教訓に基づいて、おそらく設計モデルにこれ押す適用する場合には、気をつけるべき事項という、アフターサービスで、それが先ほど例示したものなのかほかにもあるが、
1:09:13	そこもですね、事業者の考えに基づいて、きちんと説明をしていただければと思います。そういった教訓と設計の範囲の繋がりを明確にしてくださいというのが趣旨ですので、
1:09:25	中身については事業者なりの表現等でご検討いただければと思います。よろしくお願いします。
1:09:33	日本原燃佐藤では承知いたしました。
1:09:40	市長の内野です。
1:09:43	私から、分析考察に関しては大体以上でして、あとちょっと資料の作り込みとしての、適正化という観点で幾つか説明の追加を求めたいと思います。
1:09:56	全般通してですね前回もちょっと申し上げましたけれども、どちら、説明文等もですね、言葉足らずで意味がわかりにくいような表現とか、
1:10:09	用語が所々用いられておりまして、
1:10:14	関係者でないと言おうとしてるのかわかりにくいところ、いまだに散見されるかと思しますので、
1:10:20	最後全体を見直していただきたいと思います。まだ最終的に出す時期までには少し余裕があるかと思しますので、それ気づいた時点で随時直していただければと。
1:10:31	と思いますが、幾つかの例を挙げさせていただきます。
1:10:35	まず 345 ページに戻りますけれども、
1:10:40	下の方で、ポチの文章が幾つかありますが、この中で使われている言葉として、拘束効果、括弧水平、
1:10:50	液状化する手技、液状化とか、
1:10:53	無料の非液状化する劇場の地震荷重、
1:10:59	ほう素評価の低下によるご出席、
1:11:02	埋め戻しとカッコ地盤
1:11:04	です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:06	我々関係者でも、ちょっとどういう意味だろうって、首をひねるような表現。
1:11:13	おそらく言葉足らずなんだと思いますけど意味がわかりにくい表現が、
1:11:17	だったら出てきてます、特別な意味を持たせて使いたいのであれば、明確な定義を示して使っていただきたいと思いますしそうでなければ、
1:11:26	より正確な表現に改めていただきたいと思っております。
1:11:32	よろしいですか。
1:11:37	はい。野辺ハラダです。はい。おっしゃる通りちょっと今回設計モデルの中にあった鉄、特別にいろいろと場を作って表現している部分があってわかりにくいよ。
1:11:48	思いますので、工夫したいと思います。以上です。
1:11:51	すいません。はい。お願いしますが、工夫というか普通に使われてる言葉を使うよう心がけるといことが一番近道かなと思いますので、
1:12:01	そういった観点でもう一度見ていただければと思います。
1:12:05	あと他にもいくつかの例示させていただきます。一つ一つ理解を問うということはしませんのでもし不明点があったら聞いていただければと思うのですが、
1:12:14	と同じくう 345 ページのですね下の方に、
1:12:20	より細かくモデル化した検証用のモデルっていう説明があるんですけど、
1:12:26	普通の検証用モデルの方が使われてるんであって今回設計モデルを用いたっていうのはどちらかというレアなケースだと思いますこういったことを考えると、
1:12:35	より細かくモデル化したのではなくて、より実態を再現したとかですね、もう少し適切な表現があるのではないかなと。
1:12:43	と思います。
1:12:45	あとページ飛びまして 352 ページなんですけれども、
1:12:50	2 パラグラフ名にですね、E W 断面に比べてとか、N - S 断面とかいうのが、唐突に出てきておりますけれども、
1:13:03	このくだりにおいて、設計モデルの説明が何もない中で、E W S と言われてもわからないということになるかと思いますので、
1:13:11	ここは設計モデルを、例えば図を示して説明するなどですね。
1:13:16	やっていただきたいと思います。
1:13:19	あと、次の 353 ページを例にとりますと、1 パラグラフの文章ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:13:27	これメッシュサイズが妥当努力をせ、確認しようとしているくだりの説明で、
1:13:34	一番最初の文章が、メッシュサイズは、
1:13:38	適切に評価できる範囲で合理化して設定していると。
1:13:42	このため妥当性について確認するっていう文章ちょっと繋がりをおかしすぎて、
1:13:47	へえ。
1:13:49	これ何を問題、適切に評価できるように設定してるにもかかわらず、
1:13:55	妥当性を確認する必要があるのは何なのか、何が問題として残ったから、確認するのかっていうのを、明確にして書くというのが、本来の書き方かと思います。
1:14:05	そうでないですね何を問題意識としてとらえてこういった検討をやってるのかっていうのがですね、
1:14:11	ちゃんとおつ。
1:14:13	お互い共通認識を持ったのかと不安になるところもありますので、こういった
1:14:20	ちゃんと言葉を出して、
1:14:23	1、
1:14:25	います。
1:14:27	ここまでで何かありますでしょうか。
1:14:32	はい。はい。一つ一つ確認しながら聞いてただけでも全くおっしゃる通りだと思いますので、適正化ありたいと思います。以上です。
1:14:42	はい。規制庁の宇津木です。よろしくお願いします。
1:14:45	続きまして 357 ページに行っていたいただきたいんですが、
1:14:50	下の方に確認する当期はということで①から③の三つを掲げていますけれども、
1:14:57	これ、
1:14:59	以降のですね各検討項目でそれぞれの中で確認する応答値はこれこれですっていう説明が、
1:15:05	あるんですけど、
1:15:06	各項目の検討の目的に応じてどうしてこのご当地をチョイスしたのかという説明がないように思います。
1:15:16	まずはですね、この全体を通じて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:21	3章から7章まで含めてですかね全体を通じて、いろいろと検証している中で、その比較したり検討したり、確認をしたりする。
1:15:31	土地、
1:15:32	それより出てくるんですけど、それも母集団は何なのかっていうのをまず最初に示した方が良いかと思っています。資料でいくと前の方に22ページとかですね。
1:15:44	設計上用いる応答機みたいなものが載せられておりますけれども、こういった設計に用いる応答値ってのをまず整理しておいて、
1:15:56	この別添1資料ですね、3章から7章の各検討項目に、
1:16:02	受ける目的ですとか、着目する部位に応じて、適切な応答値を、
1:16:09	検討項目ごとに設定するっていうことを、この別添資料の前段の方で、
1:16:15	考え方として説明があった方がいいのではと思います。
1:16:20	へえ。
1:16:22	同じ着目する部位であっても確認する応答値を変えている場合があると思いますので、それはどうしてそういう考え方なのかという説明が必要かと思っています。
1:16:33	例えばですね382ページっていうのは、
1:16:36	①から⑦のすべてを対象に評価しますって言ってますけども、
1:16:41	設計全体に影響するといえることの問題意識があったのであればそういう説明が必要ですし、
1:16:47	何の説明もなくこだけプロオプションが出されるとですね、どうして他ではそんなにやってないのかなっていったところはですね、もやっとして残りますので、その考え方も、
1:16:59	あわせて説明をしていただきたいと思っています。
1:17:03	当適正化に関して付け加えるならば、この確認する応答値をですね、検討項目ごとに表現が変わってる場合もありますので、これは資料全体でできるだけ用語の統一を図っていただきたいと思っています。
1:17:16	この件に関して何かご不明点とかありますでしょうか。
1:17:29	はい。日本原燃原田です。はい。そうですね。応援適正化も含めておっしゃっていただいたことは、はい。理解しております。
1:17:40	そうですね。
1:17:42	うん。表現は確かに、その言葉を変えちゃってるなというところがございましたんで、4章以降の表現に回せる等ですね。
1:17:51	損はないように修正いたします。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:56	堤津野です。はい。お願いいたします。
1:18:00	あとですね、404 ページをお願いしたいんですけども。
1:18:05	5 ポツ 3、院長確認モデルの確認という章があるんですが、
1:18:10	この章はですね、ポポツ 1 で、まず、鉛直。
1:18:17	結局、Nの影響の確認をもうすでに、
1:18:21	1 度やった後に出てくる項目でして、
1:18:25	5 ポツ 3 ポツに、
1:18:29	の確認方針と、
1:18:32	5 ポツ 3 ポツ 3、確認結果というのが続きますけども、
1:18:36	この
1:18:37	この前にですねこの別 3 ポツ 1 で、
1:18:41	院長確認モデルの妥当性を確認する。
1:18:44	修正。
1:18:45	5 ポツ 1 でやってること違う。
1:18:48	というのをですね、説明をいただいて、このような形で検討段階的に行っている理由っていうのがちょっとわかるように説明していただければと思うんですけども、この点は、
1:19:00	説明を加えることは可能でしょうか。
1:19:18	はい。
1:19:19	日本原燃原田です。
1:19:22	はい。
1:19:25	はい。工夫したいと思います。
1:19:29	ちょっと問題意識っていうのはあまり伝わってないかもしれませんがけども
1:19:35	ホップ！
1:19:39	ん御所をですねちょっと
1:19:41	当初読んでいただきますと、乙 1 から 5 と 3 にかけてのその繋がりにっていうのがですね、見えづらいというのが平たく言うとそういう趣旨でございまして、同 1、
1:19:52	どうしてこういった流れで検討を進めてるのかっていうのがわかるようにですね、ちょっと説明の方追加していただきたいということになります。
1:20:00	別途ご検討の方お願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:04	はい。日本原電はですねちょっと関係者と読み合わせをしてみてくださいね。はい。
1:20:09	うん。
1:20:10	ちょっとすみません今私一読しただけでは、ちょっとここが問題かなんてわかんなかったんですけど、ちょっと読み合わせしてみてくださいね、
1:20:20	少し適正化を図りたいと思います。以上です。
1:20:23	はい。よろしくお願いします。
1:20:26	それと 422 ページに飛んで、
1:20:30	行った時、
1:20:32	そして、
1:20:34	下の方 (1) 検討方法で、
1:20:38	4 行目ですかね、解析手法をカッコ有効力とすると。
1:20:43	いうふうに説明があるんですけども、次のペイジーの上の方、上から 2 行目 3 行目。
1:20:53	の方見ますとですね、繰り返し差異化に伴う液状化の発生による影響を除外する目的でっていう。
1:21:00	言葉がなくて液状化の影響は、除外した形で評価をしているわけなので、
1:21:06	結局有効力解析に限定する意味合いがよくわからない。
1:21:11	ですね。
1:21:12	ここでも説明しようとしている影響っていうのは、
1:21:16	有効力解析が電力会社の違いに関係なく発生するというものであるなら、
1:21:23	どちらでもいいとかどちらでもいいということになりますので、
1:21:30	有効力解析に限定する意味合いっていうのをですねもう少しきちんと説明をしていただかないと後の評価方法に繋がっていかないと思うんですが、この辺りは、
1:21:40	どういうふうにお考えなのかちょっと補足をいた。
1:21:55	すみません、上原です。すみませんもう一度ご説明いただいてもよろしいでしょうか。
1:22:02	422 ページについて、下の方でここでは有効力解析を、
1:22:10	用いると。
1:22:11	来てるんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:13	次の 423 ページ、上の方を見ますと、液状化の発生による影響を除外する目的で、
1:22:21	という言葉があって、液状化の影響を無視した評価を行っているということがですね。
1:22:27	なので、ここで有効力解析に限定したという意味合いが、わからなくて、全応力解析にも共通する事象として説明を、
1:22:37	しようとしてるのであれば、そういった説明を加えていただければという趣旨なんですけど、
1:22:44	そういった説明は聴けますでしょう。
1:22:52	日本原燃の佐藤です。
1:22:57	ご疑問に思われてるけれども承知いたしました。ちょっとここでは有効力解析でも全応力でも実はよくて、
1:23:05	423 ページで、液状化の発生による影響を除外するって言ってるの、これはできにくく、繰り返し、
1:23:15	によって、
1:23:19	発生するそういう影響を取り除きたいということで、
1:23:23	ここでワンサイクルで最大値を見ますと言ってるんで、
1:23:28	そこについては少し
1:23:31	解析手法は、室田明なんですけど、本来目的としているやり方が、
1:23:38	目指すべき評価のこのやり方、
1:23:42	そして、どういうことをやったのかっていった点を、
1:23:45	少し明確になるように、
1:23:48	したいと思います。
1:23:50	以上です。規制庁野末です。はい。ちょっと私もですね質問を繰り返しながら、どこに問題点があるのか、難しい。
1:23:57	前になっちゃったところもありますので、この有効応力解析に絞るって言ったあたりのその妥当性について説明補強は必要なのかなということだと思います。
1:24:10	今佐藤さんがおっしゃっていただいたような形でですね、もう少し説明の補強を検討していただければと思います。お願いします。
1:24:21	あとすいません規制庁の岸田ですが、最後に 1 点ですけども、448 ページをお願いします。
1:24:30	これについてもですね分析考査Ⅱにも重なる部分もありますけれども、
1:24:38	448 ページにせん断ひずみの分布図

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:43	を載せてはいますけれども、
1:24:48	単にこれ載せるだけではなくてですね、解析モデル図と対比しながらですね、どの部位にひずみとか、或いは次のページの、
1:24:58	この積済みか。
1:25:00	過剰水圧が発生していてどのような挙動を示しているのかっていう説明が受けているように思います。
1:25:08	先ほどもちょっと図表載せるだけではなくってっていうお話しましたけど、ここにもそれは共通するものがありますので、
1:25:15	それは獲られた結果を図表を用いて、きちんと分析しているという、
1:25:21	ことを示す上でもですね、挙動についての説明を加えていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
1:25:34	はい。日本原燃原田です。
1:25:37	内野さんおっしゃっていただいたことは、あれですかね解析モデルのどこにひずみがかかってっていう
1:25:45	田井梨衣。
1:25:47	申しながらの説明が少し薄いと。
1:25:51	そういうことをございましょうかね。はい、そうである言葉を追加したいと思います。はい。規制庁の千野です。その通りです。
1:25:58	はい。モデル図と対比しながら説明した方が、現象の説明としてわかりやすいのではないかという。
1:26:05	ことで、江藤説明も
1:26:09	検討をお願いしたいと思っております。
1:26:13	はい。日本原燃原田です。承知いたしました。はい。すみません。一つ抜けてました。関連して415ページの図もですね、特段これ何も説明もなくただ載せてるだけとなっています。
1:26:23	この事業者はこれでもって何を説明したいのかという趣旨を明確に説明を加えていただければと思います。
1:26:32	はい。
1:26:33	規制庁の岸野です。私からは以上になります。
1:26:38	はい、450ページ申します。
1:26:53	規制庁の竹田です。
1:26:55	これは、分析考察つうことを先ほどからキシノ、お伝えしているところではあるんですけど、
1:27:04	関連するところで確認させてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:10	ページで言うと、
1:27:14	472 ページ。
1:27:16	ですね。
1:27:26	お聞かせ願ってる部分が、資料、
1:27:30	リバイス後追記していただいたところではあるんですけども、
1:27:35	ここで、
1:27:37	結果、
1:27:39	ですね競うウェイの現状加速度スペクトル。
1:27:44	及び時刻歴、それと、
1:27:47	回転加速度応答スペクトル。
1:27:50	及びその時刻歴というものも、結果として、後ろのページで示されているんですけど、
1:27:57	図の第 614-15 については、結果の分析をされているようなんですけど、
1:28:06	後、同じく事務局の回転加速度のスペクトル及び回転加速度時刻歴については、結果が載っているものの、分析では特に触れられていないんですけども、この結果からは何が読み解けるのでしょうか、説明をね。
1:28:36	あ、小野瀬聞こえてますでしょうか。
1:28:39	はい。日本原燃羽田です。コンセックでありまして、少々お待ちください。はい。
1:29:16	もう時間がかかるようでしたらまた後で回答というんでもよろしいんですけど、
1:29:22	どうしますか、飛ばしましょうか。
1:29:24	はい、日本桐原です。
1:29:26	はい。確かに回転角、それについて分析するといっておきながら、その分析結果が、
1:29:34	ちょっとここで 4 メートルの活動というところに、やっぱり確認時間を要してます。後程回答させていただきます。
1:29:41	宇井関野タケダ千田わかりました。
1:29:45	それでは、その他ですね、この別添 1、
1:29:51	妥当性不正の検証についての範囲で確認がありましたら、お願いいたします。
1:30:02	よろしいでしょうか。
1:30:04	それでは、勝。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:06	すいません日本原燃酒匂です。先ほどちょっと岸野さんからいただいた質問に対するちょっとお答えを使うと思うところがあるんですが、
1:30:16	よろしいでしょうか。
1:30:18	お願いします。
1:30:20	359 ページと 350 ページ。
1:30:32	そういう、
1:30:34	こちらで S s - A の際に、
1:30:40	6 分が可決して集金
1:30:44	ということで、あれが出てる、C 案は出ていなかった。
1:30:51	というような事象の絵ができると思います。
1:30:54	で、
1:30:56	360 ページの S s - N の、
1:31:00	左上のところを見ていただきたいんですが、
1:31:04	ここで言うばつとことは、
1:31:07	卓越指摘の黒鉄じゃ 0.2、67 秒辺り、
1:31:16	S s - A の場合は、
1:31:19	先生ご存知のように、すごい長い
1:31:26	南ですので、納付金が繰り返し起こされて、取得ができ、されて、
1:31:33	その影響で、このあたりで応答が大きくなると、いうことをまずい
1:31:40	その際に、幅が短い、青色の線、こちらの方がやはりその影響が大きく
1:31:50	いう評価を説明したいがための、
1:31:53	そうですか。で、S S C 湾の方はご存知のようにパルス的な応答ですん
1:32:00	で、
1:32:00	シタニなりの逆に応答が、
1:32:06	浜。
1:32:08	大きい小さいの、両方同じように出ていると、というような現象でした。
1:32:14	そこら辺の説明をもう少し丁寧にすべきだったところだと思いますの
1:32:20	で、
1:32:20	いう時点での表現は直させていただきたいと思います。
1:32:27	以上です。
1:32:30	規制庁のうちです。はい、わかりました。
1:32:33	今のご説明で 361 ページの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:32:37	変位の応答には地震の差が現れないことも説明できるという
1:32:43	見通しでしょうか。
1:32:47	全然サトウです。はい。そのように考えておりますので、
1:32:52	生死伝わるように少し整理をさせていただきたいと思います。以上です。
1:32:57	説明します。わかりましたよろしく申し上げます。
1:33:03	上西飯田でございます。先ほど 472 ページ目の飛田さんからのご指摘につきましては、
1:33:10	確かにこの回転活動について、全く講座、
1:33:14	分かれていないってということで、
1:33:16	こちら、
1:33:19	この図を載せた意味としましては、わずかではあるんですけども、478 ページ目の加速度時刻歴ポートスペックとの Z P A のところを見ますと、
1:33:30	状態 B 案が大きくなっていること、あと、状態 B 案が、周期が昔拘束されているような影響が見られるというような、
1:33:40	ことに対してこの改訂に影響を与えているというような、丸めた表現で書かれておりました。なのでこちらを、
1:33:49	もう少し書き出すような表現に作っていかうと思います。以上です。
1:33:57	はい。ページにとってはですね、説明の方は理解できました。では、このスペクトル木暮木野は下からこういった挙動をしていんだということ、今説明されていたと思いますので、そういった、
1:34:11	この傾向があるということが、もうちょっと具体的に記載を説明してもらえればと思いますので、お願いいたします。
1:34:20	はい。日本原電ハラダで承知しました。それからもう一つですね、先ほどハバサキさんからのご質問で 160 ページ、S s - D シリーズの加速度が違っているのではないかと。
1:34:32	いうご質問に対して回答させていただきます。
1:34:36	1 番目にですね総合的で 169 ページ、そうですね。
1:34:43	もう、
1:34:46	入れるんですな。
1:34:47	事務局でね、地震動の角度とかということですね。こちらで記載していますのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:58	こういう補正を行ってございます。これで行った後の説明です。もう、自由とかで手続きをしました S s - D につきましては監修局長のもとに、断層モデルの
1:35:10	形をそのまま使ってございますので、新保区を向いているというものであげていただく機会でございます。
1:35:18	実際はちっとはプラントの数を少しこういう補正を行った施設を設置してございますので、そういった関係で、
1:35:27	施設の東西南北に合わせる形で、こういう補正を行ったということで、捻出を E W のサービスの若干河口の発見の形状も変わっているということでしたので、 S S B わから建設規模の
1:35:40	ピークへの J - R パンチからしてある、 S S のアセットとなっている。
1:35:46	柳でございます。では以上でございます。
1:35:50	はい。規制庁浜崎です。保有補正の件、断層に関してですね、行っているという今の説明理解しましたので、まず 1 点目に沿うそういった一応条件についてもですね 158 ページかけてもらいたいというのが、
1:36:03	一つです。
1:36:05	それから衛藤に二つ目の本補正に関しては、
1:36:10	これ、基本的に今後大高式の時には、どういう扱いになるんですか
1:36:16	今、 M B に関しては、保有補正を行っているということなんですけども、
1:36:23	もうすべて補正を行った波で行うということですが
1:36:29	ここの施設に応じて、
1:36:34	今おっしゃっていただいておりますとぴあの施設においては、国の施設の北山パートナー室と、我々ますけども、
1:36:44	こちらは形で、施設はもう設置してございますので、そういうことで行ったもので、こういう基本方針で、関係ないんでしょうか。耐震評価を行った話です。
1:36:59	施設ハバサキです。今の説明で理解しましたが、
1:37:07	ここの、ここの資料でそういった説明をしが必要なのか或いは、例えば、
1:37:12	基本方針とかですねそこら辺にも、今記載があります。その補正の話っていうのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:23	4になると思います。はい。ちょっとあの地方的に日本の例しか今は作らないとしてございませんで、次回に加藤梅木ですぬ検討して、一つの基本方針等の
1:37:35	中で、はい。
1:37:37	いえ、ありました。
1:37:40	はい規制庁浜崎です重要なところですのでですね、どの段階で記載するのか等も含めて検討してください。
1:37:48	私から以上です。
1:37:53	すいません、規制庁カミデですけど、
1:37:56	基本方針に書いてないっていうのはさすがに、
1:38:00	ちょっと飛躍があるんじゃないか特に本文みたいところは、かなり大枠で書いてるんで、こういうところで読めますっていう整理が、
1:38:09	なされている段階だと思ってるんですけど。
1:38:12	どういうイメージで今書いて先生にしますって言ったのか教えてもらえますか。
1:38:23	もちろんしっかりですね、
1:38:26	共通しフラワーの記載。
1:38:29	をですね、確認、確認しました。
1:38:33	やっぱり整理した上で、
1:38:35	大きな欲しいっていうところを書くべきというところについては手にしたいと考えて、
1:38:41	規制庁カミデ諏訪他Cが思ってるイメージだけでいうともう本文で各レベルのこの中には保有補正みたいなのも多分入ってて何か適切にと か、
1:38:53	何々を考慮椎野の中に入っているっていうことなんじゃないかと思いま す。で、
1:39:02	計算はそれぞれやられるんでしょうけど、基本方針がまた整理されてき た段階で、
1:39:09	自分たちのやってる計算なり設計が方針にちゃんと従ってるかっていう のを、
1:39:15	ちゃんと見てないっていう事例な気がしますので、
1:39:19	巻上であればいいんですけど、その辺りしっかり整理してですねヒアリ ングで受け答えができるようになってもらいたいと思いますので、よろ しくお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:34	はい。
1:39:36	設定のところを認識した上で説明できるように、
1:39:41	行きたいと思います。
1:39:59	です。
1:40:00	それでは、次の別添の確認に進みたいと思います。
1:40:04	次は別添2ということで、県警のだと言えに関するところになります。
1:40:11	メジャー574から609になります。この範囲について規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
1:40:32	特に別府にはないでしょうか。
1:40:37	では次に進みます。次の別添3。
1:40:41	ソフト拘束ブレースについてということで、
1:40:45	ページは610から、
1:40:49	625ページですね、この範囲になりますが、規制庁側からこの範囲で、
1:40:55	確認がありましたらお願いいたします。
1:41:09	検査もよろしいでしょうか。
1:41:11	別添の4。
1:41:13	626ページから671ページ、この範囲で、規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
1:41:30	よろしいでしょうか。
1:41:32	江藤スズキまして別添5駅側りんの
1:41:35	耐震評価についてということで672ページから、
1:41:41	グループ40ページですね、この辺について確認がありましたらお願いいたします。
1:41:48	規制庁上出です。最初の、
1:41:51	構成の話に関係するんですけど、
1:41:55	比木側の説明だけじゃないんですけど、
1:41:59	いろいろ議論をする中で、資料を提示してもらいつつ、
1:42:06	次回以降の申請のやつでもどこまで示すのかっていうのは、あんまりイメージできてないんですけど、事業者としてはどう考えてますか。
1:42:20	はい。日本原燃原田です。先ほど申し上げましたっていう、グ立てっていうか
1:42:29	わかりやすい物が回収建物01で示すということですけども、本当に今申し上げられることはですね、
1:42:36	結局うわもの規格ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:41	評価。これ特徴的なものがございますので、
1:42:45	ちょっとそれぞれの設備において、どうしても補足説明せざるをえないかなと考えてます。それ以外のところは、かなり共通化、類型化。
1:42:57	ますんでそれは、
1:42:59	スマホ効率化を図っていきたいと、そのように考えております。以上です。
1:43:05	規制庁、高見です。この基礎は評価とかがどれほどのものなのかっていうのもあって、
1:43:14	最初は
1:43:15	本当に設計のコンセプトみたいなところを確認したときにですね。
1:43:20	なかなか答えてもらえなくてそういうところがどんどん波及して物が増えてきてるっていう。
1:43:26	状態なんだと思ってるんですよ。
1:43:30	じゃあ基準適合のために、これが必要なのかってなる等、必要だとしたらこれ耐震計算書に呑まなきゃいけないことなんですよ。
1:43:38	この耐震計算書はそこまでは言ってないっていうところで、どっかで切り分けがあって、
1:43:44	切り分けなりその重みづけがあってですね。
1:43:47	それを踏まえて
1:43:50	そう。
1:43:51	なぜ先ほど言った
1:43:52	それぞれの施設でやっぱり違うのに出さなきゃいけないっていうのもそれほどの重さのものなのかっていうことなんですよ。で、
1:44:02	示さなきゃいけないって判断するんであれば今みたいなことが、
1:44:07	次回も示されるんでしょうし、いやいやそうではないよということであれば
1:44:14	具体のう。
1:44:16	ものはA4Bである程度示しつつも、考え方をちゃんと書いてもらってこの考え方によって他のやつもやっていますと。
1:44:25	ちなみに奥井については具体を記載するところなんですっていう整理で、まとめられるっていうことなんですよ。なんで
1:44:34	その辺もちゃんと
1:44:37	何だろう、情報の重要度っていうかそういうところも踏まえて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:41	全体構成を考えてもらいたいと思いますけど、こちらの意図は伝わりましたか。
1:44:52	嘘。
1:44:54	ご指摘の通り
1:44:57	ヒアリングの途中でいろいろとただ、適切に答えられないで、どんどん資料が増えたっていう点もありましたので、
1:45:06	ご指摘のように、基準適合上何がマストで、それ以外は何なのかといったところを少し明確にして、資料5を
1:45:16	お示しできるように今後考えたいと思います。以上です。
1:45:21	はい。規制庁深見ですよろしく申し上げます防護ネットはこの木曾に限らず何かそういうものが、ちらほらって感じもしますので、見通して、整理を、
1:45:32	お願いします。以上です。
1:45:42	結局タケダです。
1:45:44	その他別添5について確認はございますでしょうか。
1:45:52	よろしければ次別添の耐震評価についての確認に進みます。
1:45:58	ページとしましては741から774までですね、この辺について確認がありましたら、お願いいたします。
1:46:08	はいキュウチョウハバサキです。資料758ページからです。
1:46:16	758ページの方ですね評価結果ということで
1:46:23	示してもらってますけど、前回、3月25日付の資料から、数字の有効数字の丸めの違いがある程度で、結果には
1:46:35	と同じだということは確認しました。
1:46:38	ただ759ページの方ですねトークの軸力分布のところですけども、これが前回から随分結果が変わっていますが、
1:46:50	まず、なぜそれが変わったのか、理由について説明してください。
1:47:03	全然いいマップなんですけど、こちらにつきましては前回のヒアリングでご説明し、失礼しました。21番につきましては、
1:47:12	このピッピそうするところは、全地震を相談しました形で、
1:47:18	災害の、やっぱりお伝えしていたと、いうふうな、
1:47:22	今回はですね、この
1:47:24	項目の中で最大を与えるようなケースにおいての差し引き応力の状態をお伝えしたというのがございますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:34	3、25日付の提出資料とが変化していると、そういった江藤井戸で変更してございます。以上です。
1:47:45	はい。瀬下浜崎です。説明理解しました同じことは763ページにもいえるということなんで、要はこれ、前回指摘しました
1:47:58	なぜ、杭のその内側外側っていうんですかね片や、圧縮型引っ張りになってるんですかっていうその理由の多分説明のためにこの
1:48:08	あるケース元笹市の議決に限定をして、表記をされたというふうに理解しましたが、
1:48:15	嘘。前回最大値、とにかく最大包絡的なさいちゅうか、示すのではなく今回はケースに限定したという理由についてはそういう理解でよろしいですか。
1:48:29	はい。そのような、
1:48:32	以上です。はい。規制庁浜崎です。わかりました。その点ですね757ページ、各係数の軸力を、分布を示すっていうだけではなくてですね、
1:48:45	ちょっと先ほどのその内外の違いについては、こちら説明を求めましたんでですね、その説明の説明の意味でこういう結果になっているということなのができるようにちょっとし、
1:48:58	文章の充実というか拡充の方をしてもらえればというふうに思います。
1:49:04	趣旨は理解していただきましたでしょうか。
1:49:08	ありました結果につきましても高速でPANDAスズキですね。
1:49:14	運動を含めまして、改めて見直してしまっていていいですか。
1:49:19	はい、はい規制庁ばできます今、例えば717ページ、最下パラグラフのところにアンダーラインで、
1:49:28	追加されてますけど72.2のところですね、ここが発端となっておりますんでその説明の方をですね、もう少しこの結果を、
1:49:40	の考察という観点で充実してもらえればというふうに思いますのでよろしくをお願いします。私から以上です。
1:50:00	規制庁竹田です。その他別添6について確認はございますでしょうか。
1:50:09	では最後別添7ですね、775ページから最後までになりますが、
1:50:17	この辺について、確認事項がありましたらお願いいたします。
1:50:28	別添7もよろしいでしょうか。
1:50:32	はい。それでは一通りの確認は行いましたが、全体を通して、確認漏れ等はありませんでしょうか。
1:50:45	160ページのところで説明します。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:55	振り子性をミリセックのお話をさせていただきましたが、地域によってはちょっと離れたところにある用いてると、ランクの人を使ってるものがございますので、こちらについては、
1:51:09	施設の方に、に
1:51:11	従ってですね、適切なこういうところがあって、新藤茶木で市長の方は一つではなしで設備もあるということでしたので、
1:51:24	違う。
1:51:26	規制庁浜崎ですちょっと今野イナヅマさんの音声聞きにくかったんですが、要は切捨て値ということでそれって非常にやっぱり上流側の話、非常に重要な点ですので、
1:51:40	そういったのはやはり基本方針なりですね、しっかり説明するとともに、ここの資料においても、詳細に説明するという質のは、必要だというふうに思いますが、
1:51:52	そういう対応を今後、サクキュウにしてもらおうということによろしいですか。
1:51:58	今まで終わりました上流側につきましての実際の保守ということ、またほぼ個別の設備におきましてどのような考え方で、補正を行ってるっていうところにつきましても、しっかりお伝えさせていただきたい。
1:52:14	規制庁、上手です。今の話って、あれですか最初に特有で、必要だとあんまりすることは起こってないんですか。
1:52:26	すいませんカミデさんの言葉がちょっとキャッチできなかったのもう一度お願いします。規制庁、上手です。今その方向の補正だとかは、
1:52:37	実用炉ではやってなくて再処理では、やってるとかそういうことなんですか。
1:52:46	すいません九州電力の明石でございます。これ、あくまで私の答え九州電力の例でございますけども、断層モデルの波自体、プラントN-Sに合わせて、
1:53:01	作っております、それに合わせてプラントMSに合わせて建物が建っておりますので、
1:53:12	その自製のほうに返還をしてるという事例は、当社九州電力がなかったかと承知しております。ただし、建物の向きがいろいろ立地条件によって変わってれば公平感をすると。
1:53:28	いうこともちょっと十分あり得ることだとは考えます。
1:53:32	はい。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:53:36	はい。規制庁カミデですそのあたり先行事例があるのであれば
1:53:41	その辺も踏まえて整理いただければと思いますし、
1:53:45	なないのであれば最初に特有の古藤というして、ちゃんと整理するって いうことだと思いますのでよろしくをお願いします。
1:54:07	規制庁竹田です。それではその他、全体を通して何か規制庁側からござ いますでしょうか。
1:54:17	よろしいでしょうか。中国ないですけども。
1:54:21	今ですね、結構その基本方針にきちっと格別と書くということで、いろ いろお話出たんですけどもこれ、最初に限らずMOXの方も同じであっ て、
1:54:31	先週、MOXの方の補正申請出てきたんですけども、
1:54:35	もう今後00シリーズやったりするんですけど
1:54:39	補正申請の内容等、
1:54:42	補足説明資料の内容っていうのは、きちっと整合とれてということによ ろしいでしょうかちょっと足りないところもかなりあるような気はして るんですけど、現状その
1:54:52	補正申請の内容と補足説明資料の内容は整合してるという理解でよろし いでしょうか。
1:55:00	日本原燃谷口です。先日出させていただいたMOXの補正は、今までご 説明をしていた00シリーズのうちの、別紙の6-2。
1:55:10	に該当するところが基本設計方針になって入っているものです。
1:55:16	ヒアリングを重ねさせていただいて、一番最後の補正のすごい近い時期 にやった補ヒアリングでいただいているコメントで一部反映ができてい ないというようなところがありますが、
1:55:29	それ以外のものについては今までご説明をして、ヒアリングしていただ いた、00-02の別紙の6-2が、内容として入っているということでご ざいます。以上です。
1:55:41	規制庁相良です。今、谷口さんの説明にもあった通り、まだ一部ちょっ と反映できてないところっていうところがあるって話と、今後ヒアリン グでですね、
1:55:51	必要に応じて、事実確認した中で、
1:55:55	さらに必要な情報を盛り込むべきという話があれば、そこは当然ながら 補正で対応されると、そういう理解でよろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:04	はい。日本原燃谷口です。補正の申請させていただいた後、6月10日には00-02、また改めてお出ししているようなものもございます。
1:56:15	今後予定されているヒアリングの中で、きちんとして説明をして、変更が必要だよねというところが出てくればもちろん反映して修正をすることで対応させていただければと。
1:56:28	いうふうに考えております。以上です。
1:56:31	規制庁摺んで説明は理解しました。以上です。
1:56:35	規制庁カミデです。すいません今のよくわかんなかったんですけど補正のあと2、
1:56:41	6月10日2000に出てきてますけどその別紙6は補正の
1:56:49	所補正申請の方針と一緒にすよね違うんですか。
1:56:55	やっぱり日本原燃谷口です。補正申請、6月の7日ですね、7日に出したものをきちんと反映をして、ヒアリングに耐えられるようにということで10日の日に、
1:57:09	提出をさせていただいています。内容としては一緒です。
1:57:14	藤規制庁カミデです
1:57:17	なんかちょっと修飾語入ってよくわかんないんですけど、例えば本文で言えば補正書の本文の方針で言えば、
1:57:25	0002の別紙6だと思いますけどそれは一致してるっていう認識でいいんですよね。
1:57:33	日本原燃谷口ですごめんなさい、余計なことを言って、の6-2に書いてある内容が、補正をした時の内容になっています。
1:57:43	ただしですね7日の日にお出しした後、もうその00-02を出すために、社内では内容を確認してレビューをしてということをしております。
1:57:54	てにをはに誤りがあるとか、漢字が間違っているみたいなことが幾つかありましたので、それは修正をさせていただいています。ただし記載の中身として説明をしている内容を変えているものはございません。
1:58:08	規制庁鏡です。なので補正と、0002の別紙6でいうと手にをは、
1:58:16	別紙6では変わっている。で、そちらが最新だと思っているのは、10日に出てきた。
1:58:26	0002が、そちらとしての一番、
1:58:31	ふさわしい最新の内容だということでもいいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:36	はい、日本ねタニグチです整理していただいております 我々としては今、10日に出した0002が最新で、それをベースに今後平 ヒアリングをさせていただくことを考えています。
1:58:47	実際にその7日の補正から内容が変わっているところについてはきちん とそのヒアリングの中で、改めてまずはお説明した上で、内容をご確認 いただいて、今後また精度を上げていくというそういうことをさせてい ただきたいと思っています。
1:59:00	はい。規制庁神です。わかりました。
1:59:04	補正出して数日で変わるようなものを補正出すんだっていうなことで はあるんですけど、どんな補正を出すとそちらの関係なので、まずは00 が、側が最新だっていう、そちらの認識で、
1:59:17	ヒアリング進めていくと、いうこととりあえずわかりました。
1:59:21	以上です。
1:59:33	はい。
1:59:34	規制庁の竹田です。
1:59:36	ちょっと僕その長谷の話も入ってしまったんですけど、江藤耐震建物 23の、本日、規制庁側からお伝えした、関関口が確認事項につきまし て、
1:59:48	まだ修正方針とは聞いておりませんでしたので、ちょっと修正方針につ いての説明と、不開示情報の発言がなかったかの確認。
1:59:58	また他の事業への水平展開等ありましたらお願いいたします。
2:00:04	はい、日本でパラです。まず修正方針でございますけれども、大きくざ っくり3点について述べさせていただきますと、まず全体構成の話です ね。
2:00:17	こちらにつきましては後次回申請、
2:00:22	のそのボリューム感がわかるような、
2:00:25	なあ、整理っていうんですかね、その仕方へとどういふふうになってい くかっていう整理をですね、これ耐震建物01の方に
2:00:35	整理するんですけども、そこは検討して、
2:00:41	示していきたいと考えております。
2:00:44	それから二つ目が、分析考察ですね、特に設計モデルのところが多かつ たんですけども、
2:00:52	いろいろ図とか表とかを示しながらも、何が言いたいのか、ちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:59	考察的考察が低迷でないところがあったなというところをご指摘いただいて気づきました。
2:01:06	それからあと設計モデルの教訓めいた話ですね、現状我々鉛直モデルで、儲けやすい
2:01:14	屋根部のんところは注意しか書いてないんですけれども、
2:01:20	確かにおっしゃる通り保守性についてあまり
2:01:25	2、3%ぐらいしかなくて、なかなか注意が必要だなというところにも気づきましたんで、その辺、記載されて記載の充実化を図りたいと思います。
2:01:36	それからあと全体を通してですね一読しただけでは、趣旨が読め、読み取れなかったりポイントがよくわからないなといったところとか、
2:01:46	あと、特殊な言葉を使って、
2:01:49	説明したりですとかね、移民の悪いわかりにくいものも多々あったなというところにも気づきましたので、
2:01:57	その辺より正確な表現に見直して修正をかけたいと思います。
2:02:02	はい。はい
2:02:05	以上です。あと、深井地情報についてちょっと1点主
2:02:09	ございますので、イナヅマから紹介いたします。はい。江藤会長方についてですので、深い情報につきましては、ちょっと発言としては
2:02:19	日本原燃が終わっているようなこともございませんでしたが、4月20日本日の資料におきまして、不開示情報、マスキングのあったところもありましたので、この1ページに入っております。
2:02:31	あと148ページでございます。
2:02:35	他の方ですね、手法界面の周知徹底も他のべきところはそういう、
2:02:43	なので、そこは、
2:02:46	合っている。はい。
2:02:49	同様に182ページでございます。
2:02:55	282ページ。
2:02:57	いや、今でも、
2:02:59	100ページ、
2:03:03	はい、ありがとう、農業に情報の計上させていただきます。こちらの方は、しっかり発信したので、
2:03:12	修正したいと思います。
2:03:14	3点目、週次で、これが621ページにプレスの試験結果の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:25	差異がございます。
2:03:34	620 にしています。
2:03:38	わかりますね。の方でマーキングが漏れていただくメーカー名につきまして、落合がありまして、
2:03:48	うん。
2:03:49	もらって、立派だから、
2:03:53	駄目。
2:03:54	パッキングしてございますので、コラボバッティングするという点と、またですね、パラメーターと結果表 1 とあるんですけどもこれの方で少し、
2:04:05	アピールを図っているところもございました試験体名はですね、マッピングされてございますけれども、一応ここはあの改定しても問題ないという部分ですので、こちら併せて修正したいと考えてます。
2:04:17	左営業 2 課から説明は以上でございます。
2:04:32	うん。うん。規制庁の竹田です。ありがとうございます。
2:04:36	学会情報についてはこれまでも何度もお伝えしていることではあるんですけども、
2:04:42	特に審査する上では必要のないような情報であって、かつ、何か不開示情報になるような情報というのはできるだけですね、載せないようお願いいたします。
2:04:54	肩幅なんてのは特になくてもこちらは全然困りませんので、そういったところを十分に今後とも留意するようお願いいたします。
2:05:05	はい。日本原燃原田です。承知いたしました。
2:05:10	規制庁の竹田です。それでは本日予定していて、していたヒアリングは以上となりますが、全体を通して何かございますでしょうか。規制庁はいかがでしょうか。
2:05:25	よろしいですか。原燃側は何かございますでしょうか。
2:05:31	日本原燃側特にございません。
2:05:35	はい。規制庁竹田ですわかりました。それでは本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
2:05:41	ありがとうございました。
2:05:45	録音の提出をお願い

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。